

令和元年度

「新潟県コンクリート診断士会」通常総会資料

令和元年度

「新潟県コンクリート診断士会」通常総会資料

ほんぽーと新潟市立中央図書館（3F 多目的ホール）

令和元年 7 月 10 日（水）

令和元年度

「新潟県コンクリート診断士会」通常総会次第

令和元年7月10日（水）
ほんぽーと新潟市立図書館
3F 多目的ホール

【通常総会】（14時～14時45分）

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事
第1号議案 平成30年度事業報告並びに収支決算承認の件
第2号議案 令和元年度事業計画並びに収支予算決定の件
第3号議案 会則改定の件
5. その他報告事項
6. 閉 会

【講演会】（15時～16時45分）

- 記念講演 「文化財的建造物の保存・修復に携わって」（15時～15時40分）
講師：アトリエ雁木主宰 清水 恵一様
- 関連鼎談 「診断技術と感性」（15時45分～16時45分）
アトリエ雁木主宰 清水 恵一様
新潟工科大学名誉教授 地濃茂雄（当会会長）
（株）ダイアテック代表取締役 丸山聡（当会副会長）

【懇親会】（17時15分～18時45分）

会場 +3（プラスサード）新潟市中央区東大通 1-1-1 第5マルカビル3F

新潟県コンクリート診断士会 ホームページアドレス
<http://niigatakon.g2.xrea.com/>

事務局 (株)クリエイトセンター内 遠藤

TEL : 025-232-7121 FAX : 025-232-7130

E-mail endou@ngk-center.co.jp

入会金・年会費振込み先

第四銀行 白山支店 新潟県コンクリート診断士会
事務局 遠藤 潤 普通預金 口座番号 1633148

「新潟県コンクリート診断士会」

平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

1. 事業の概況

新潟県コンクリート診断士会は、平成20年10月の設立以来、講演会や現場研修会ならびに技術セミナー等によりコンクリート診断技術の向上や会員同士の親睦ならびに診断士会情報発信等の広報活動に努めてきた。これらの結果、現状における会員数は120余名・賛助法人18団体の大きな組織となった。

平成30年度は、7月に会設立10周年記念式典と祝賀会を開催し、これまでのあゆみを振り返るとともに記念講演やパネルディスカッションにて社会インフラの適切な維持管理に向けコンクリート診断士の果たすべき役割について認識を深めた。

また、新潟県土木部主催の技術研修会への講師派遣等による積極的なPR活動を行った。

【会員数の推移】

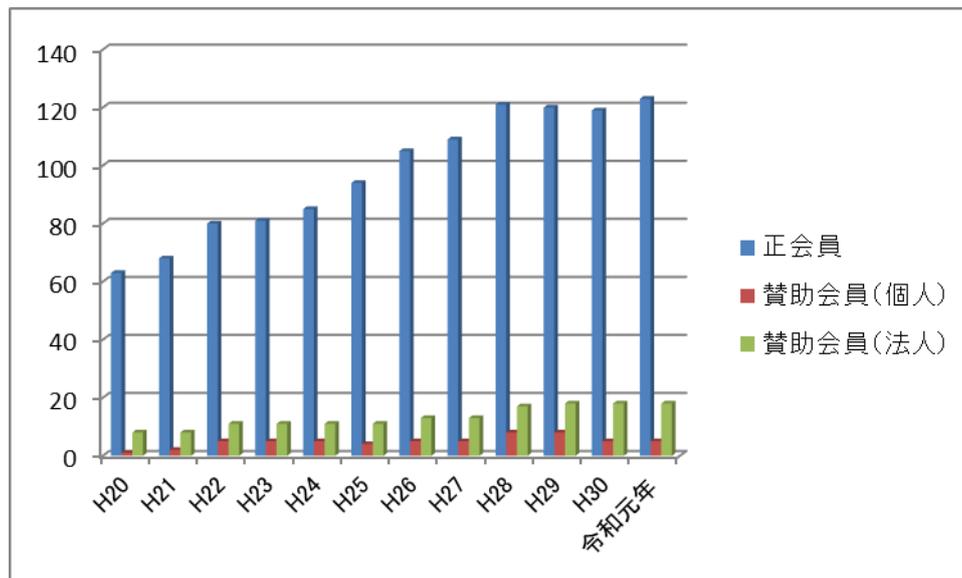


図-1 会員数の推移 (総会開催時人数)

【現会員数 (令和元年7月1日現在)】

正会員	123名
賛助会員(個人)	5名
賛助会員(法人等)	18団体

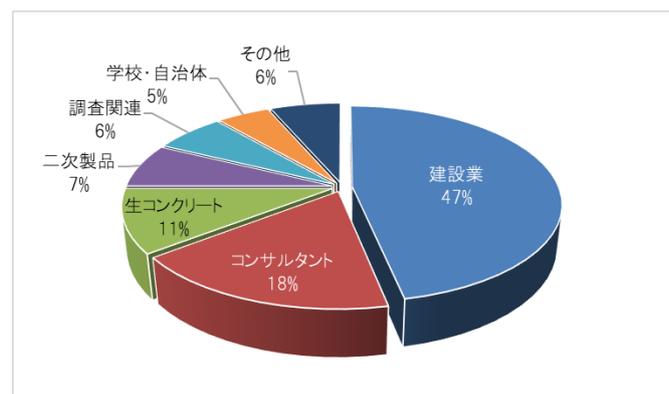


図-2 正会員の業種別構成

【主な活動の記録】

表-1 設立からの主な活動の記録

年度	種別	年月日	講演他
平成 20 年	設立総会	H20. 10. 31	「コンクリート診断士の現状と将来」 長岡技術科学大学教授 丸山会長
	技術セミナー	H21. 02. 03	「コンクリートあれこれ」 新潟工科大学教授 地濃顧問 「補修工法及び補修材料」「診断事例」 外部講師
平成 21 年	通常総会	H21. 06. 18	「中越地震と中越沖地震におけるRC学校建物の挙動について」 新潟大学教授 加藤顧問
	技術セミナー	H21. 10. 23	「塩害環境を測る」 新潟大学教授 佐伯顧問
		H22. 02. 10	「コンクリート構造物の維持管理」 長岡技術科学大学教授 下村顧問 「新潟県の道路施設管理」 新潟県土木部道路管理課 町屋課長補佐
平成 22 年	通常総会	H22. 06. 10	「耐震補強壁における乾燥収縮ひびわれ対策の試み」 長岡工業高等専門学校教授 岩波顧問
	臨時総会	H22. 10. 07	「コンクリートのひびわれについて」 新潟工科大学教授 地濃顧問 「コンクリートのひびわれについて」 長岡技術科学大学教授 丸山会長
	現場見学会	H22. 11. 1~2	国道 8 号線沿線橋梁の塩害状況・柏崎刈羽原子力発電所
	技術セミナー	H23. 02. 25	「鉄筋腐食のメカニズムと電気化学的補修工法」電気化学工業(株) 宮口様 「コンクリート診断に関わるフリートーク」新潟工科大学教授 地濃顧問
平成 23 年	通常総会	H23. 07. 07	「東日本大震災の被災状況」 長岡技術科学大学教授 丸山顧問
	技術セミナー	H23. 12. 01	「北陸地方の損傷橋梁の現状と対応」 北陸地方整備局 平賀様 「NEXCO 東日本におけるコンクリート構造物の現状と対策」 西川様
平成 24 年	通常総会	H24. 07. 05	「イタリアにおける歴史的建築物と現在の共生」 建築家 鳴沢様
	現場見学会	H24. 09. 25	関越自動車道橋梁補修現場
平成 25 年	通常総会	H25. 07. 04	「インフラの老朽化を考える」 新潟県土木部道路管理課 土田様他
	技術セミナー	H25. 12. 03	「全国のコンクリート診断士会の動向」 セメントジャーナル社吉田様 「インフラの老朽化を考える（パートⅡ）」（パネルディスカッション）
平成 26 年	通常総会	H26. 07. 08	「コンクリート工学における分析技術の確立」 (株)土木管理総合試験所 所長 星野様
	技術セミナー	H26. 10. 17	「コンクリートと診断」 新潟工科大学教授 地濃会長 「人間身体、五感の話」 広瀬歯科医院長 広瀬様
	現場研修会	H26. 11. 18	国道 113 号胎内橋・藤村橋の現地視察及び意見交換
平成 27 年	通常総会	H27. 06. 25	「コンクリートの塩分拡散係数について」他 新潟大学教授 佐伯顧問
	実務者報告会	H27. 12. 03	第一部（調査・試験・設計部門） 2 報告 新潟県コンクリート診断士会会員 第二部（施工部門） 2 報告 新潟県コンクリート診断士会会員
平成 28 年	通常総会	H28. 06. 27	「社会資本の長寿命化対策」 国土交通省 水管理・国土保全局 森岡様
	現場研修会	H28. 08. 30	第 1 回 村上新発田地区 国道 345 号沿線のコンクリート建物等の視察
		H28. 11. 15	第 2 回 糸魚川地区 国道 8 号沿線のコンクリート道路橋の視察
	技術セミナー	H28. 10. 28	第 1 回 現地研修会の結果報告及び意見交換 本田副会長
H29. 02. 24		第 2 回 塩分吸着剤を活用した断面修復 ジェイアール総研 鳥取様 インフラ施設の維持管理に関する新材料及び新工法 丸山副会長	
平成 29 年	通常総会	H29. 07. 06	「福井県コンクリート診断士会の取組みと福井県の維持管理の現状」 福井県コンクリート診断士会 会長 石川様
	現場研修会	H29. 09. 06	第 1 回 国道 8 号新潟 BP 擁壁の ASR 損傷状況の視察
		H29. 11. 16	第 2 回 北陸自動車道 小高高架橋他の ASR 損傷状況の視察
	技術セミナー	H29. 02. 21	第 1 部 現地研修会の結果報告及び意見交換 本田副会長 第 2 部 シンポジウム 新潟工科大学名誉教授 地濃会長
平成 30 年	通常総会 会設立 10 周年 記念式典	H30. 07. 11	「社会インフラの維持管理と診断士の役割について」 長岡技術科学大学 丸山名誉教授
	技術セミナー	H30. 11. 09	「コンクリート診断士のこれまで、これから」（パネルディスカッション） 「時を刻むコンクリート」 クリエイティブ・スピリッツ代表 鳴沢様 「ひびわれ補修工法/ひび割れ表面目止シール」 ニチバン(株) 市村様

2. 会議他開催状況

2.1 通常総会

- ・平成30年7月11日(水)・・・アートホテル新潟駅前 4F 越後東
主な議題 平成29年度事業報告・平成30年度事業計画の承認・その他
出席会員数 正会員 82名(委任状提出者24名を含む)
賛助会員 個人3名 法人6名



写真-1 地濃会長挨拶



写真-2 議案決議

2.2 役員・幹事会

- ① 平成30年2月14日・・・(株)クリエイトセンター
主な議題 設立10周年記念誌編纂他
- ② 平成30年5月10日・・・(株)クリエイトセンター
主な議題 平成29年度事業総括・平成30年度事業計画案策定他
- ③ 平成30年6月15日・・・(株)クリエイトセンター
主な議題 会設立10周年記念式典準備他
- ④ 平成30年9月12日・・・(株)クリエイトセンター
主な議題 総会・記念式典総括、第1回技術セミナー計画他
- ⑤ 平成30年10月17日・・・(株)クリエイトセンター
主な議題 第1回技術セミナー準備他
- ⑥ 平成31年1月28日・・・(株)クリエイトセンター
主な議題 新役員体制協議他

3. 会設立 10 周年記念式典・祝賀会

1. 日時:平成30年7月11日(水) 記念式典 15時～17時 祝賀会 17時30分～19時
2. 会場:アートホテル新潟駅前 4F越後東
3. 参加者:新潟県コンクリート診断士会会員及び関係者他 約80名
4. 記念式典次第
会長挨拶 新潟県コンクリート診断士会 会長 地濃 茂雄
来賓祝辞 新潟県土木部技監 宮野 岳 様
日本コンクリート診断士会 会長 林 静雄 様
記念講演 「社会インフラの維持管理と診断士会の役割について」
講師:長岡技術科学大学名誉教授 丸山 久一 様
パネルディスカッション 「コンクリート診断士会のこれまで、これから」
コーディネーター:新潟工科大学名誉教授 地濃 茂雄 会長
パネリスト:新潟県コンクリート診断士会会員



写真-3 地濃会長挨拶



写真-4 宮野技監祝辞



写真-5 JCD 林会長祝辞



写真-6 丸山名誉教授記念講演



写真-7 パネルディスカッション



写真-8 祝賀会下村教授乾杯挨拶

コンクリートの健全性を評価する専門技術集団として20年

県コンクリート診断士会が設立10周年記念式典

宮野岳・県土木部技監らを来賓に約80名が出席
地濃会長「10年の蓄積を次世代へ伝えさらなる発展を」

10月に発足した新潟県コンクリート診断士会(地濃茂雄会長)の設立10周年記念式典がこのほど、新潟市のアートホテル新潟駅前で盛大に開かれた=写真。式典には県土木部の宮野岳技監や日本コンクリート診断士会の林静雄会長を来賓に関係者など約80名が出席し、社会インフラの発展と維持・更新を支える同会の節目を祝うとともに、県土の均衡ある発展に向けて決意を新たにした。

式典であいさつした地濃会長は、「様々な方から協力を頂いて10年の節目を迎えることができた」と同会の設立および運営に尽力した関係者に謝意を示した。その上で、「これまでの10年は蓄積の時代だった」と振り返りながら次の10年に向けて、「この蓄積を次世代に伝えていく方策を考えていくことが会のさらなる発展につながるのではないか」



との方向性を指し示した。そのためにも、「入口

と出口をはっきりすることが重要だ」と強調し、最終的な目標を見失わず、感性を研ぎ澄ませながら取り組むことの重要性を訴え、コンクリート診断士のさらなる活躍を祈念した。



地濃会長

来賓からは「コンクリートは公共施設の主要な部分を占めるものであり、10周年を契機にさらなる資質向上に努めてもらいたい」(中田一男県土木部長・代理)、「新潟県コンクリート診断士会には日本コンクリート診断士会の立ち上げからご協力いただいた。コンクリート診断士の発展に向けて貴会の協力をお願いしたい」と祝辞が送られた。

式典では、地濃会長をコーディネーターとするパネルディスカッションが行われ、「コンクリート診断士のこれまで、これから」をテーマに(株)ダイアテックの丸山聡代表取締役社長と開発技建(株)の近藤治氏がパネラーとして参加。地濃教授は「塩害など新潟から全国に向けて発信するテーマがあるはず」と会の発展に向けた取組の一端を指示した。また、会場からは「女性の活躍が不可欠。女性でも技術を習得できるシステムが必要だ」や「後継者や若手を育てていくことが重要ではないか」といった意見が挙がるなど、コンクリート診断士のさらなる発展に向けて様々な議論が交わされた。

また、パネルディスカッションに先立って「社会インフラの維持管理と診断士の役割について」と題して丸山久一長岡技術科学大学名誉教授が講演。地方自治体における膨大な社会インフラの適切な維持管理に向けた実施可能な方策等について解説した。

地濃会長の続投を決定

同日には、30年度の通常総会も同会場で開催され、役員改選を含む3議案について審議し、すべて承認した。役員改選では、地濃会長ら3副会長の続投を決定した。

2018年7月21日

建設速報

4. 技術セミナー

第1部の講演会では、クリエイティブ・スピリッツ代表鳴沢氏を講師に迎え、古代ローマの建造物が現代まで再利用やリノベーションにより維持・保存され続けている歴史的背景等を踏まえ、持続可能な社会に向けたコンクリート建造物の維持管理の在り方について講演頂いた。

第2部の技術セミナーでは、ニチバン株式会社 テープ事業本部の市村氏にひび割れ補修工法と、ひび割れ表面目止シール用シールテープについて紹介頂いた。

日 時：平成30年11月9日（金）14:00～16:45

会 場：クロスパル新潟 4階映像ホール

第1部：講演会

テーマ：「時を刻むコンクリート」

講 師：クリエイティブ・スピリッツ代表 鳴沢晴美様

第2部：技術セミナー

テーマ：「ひびわれ補修工法/ひび割れ表面目止シール用シールテープ」

講 師：ニチバン株式会社 テープ事業本部 テープ開発部 市村 周二 様

参加者：新潟県コンクリート診断士会会員他 44名



5. その他活動

(1) 新潟県土木部技術管理課主催技術研修会への講師派遣

月 日 : 平成 30 年 8 月 20 日 (月)
会 場 : (一財) 新潟県建設技術センター
演 題 : より良いコンクリートを打つために (施工時の着眼点)
講 師 : 新潟県コンクリート診断士会 (株)ダイアテック) 柳 益夫会員

(2) 新潟県土木部流域下水道事務所主催技術研修会への講師派遣

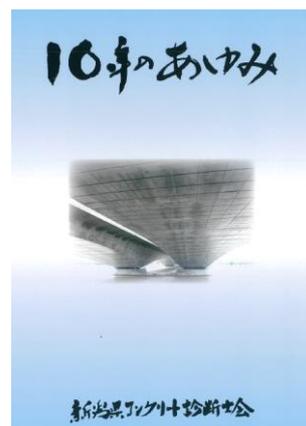
月 日 : 平成 31 年 1 月 25 日 (金)
会 場 : 流域下水道事務所
演 題 : 下水道コンクリート躯体の点検調査
講 師 : 新潟県コンクリート診断士会 (株)ダイアテック) 丸山副会長

(3) 外部勉強会・講習会等への参加

- ・平成 30 年 4 月 20 日
「平成 30 年 4 月度コンクリート技術講習会」への参加
主催：株式会社プロダクト技研
- ・平成 30 年 6 月 8 日
「平成 30 年度生コンクリート勉強会」への参加
主催：三蒲地区生コンクリート協同組合
- ・平成 30 年 11 月 5 日 (新潟会場) 11 月 6 日 (上越会場)
「平成 30 年度技術セミナー」への参加
主催：(一) 新潟県建設技術センター
- ・平成 30 年 12 月 4 日
「メンテナンス技術講習会 北陸地区の現状と新技術について」への参加
主催：橋梁等構造物メンテナンス研究会
- ・平成 30 年 12 月 21 日
「橋梁技術講演会」への参加
主催：建設コンサルタンツ協会 北陸支部

(4) 会設立 10 周年記念誌「10 年のあゆみ」編纂

10 周年記念式典出席者他に配布



(5) 親睦行事の開催

- ・平成 30 年 7 月 16 日
新潟県コンクリート診断士会設立 10 周年記念コンペの開催
場 所：笹神五頭ゴルフクラブ
参加者：12 名
- ・平成 30 年 10 月 8 日
コンクリート診断士会・CEG 研究会合同ゴルフコンペの開催
場 所：湯田上カントリークラブ
参加者：12 名

【平成 30 年度収支決算書】

収入の部	会費収入	正会員	3,000×119	357,000 円
		賛助会員（個人）	3,000× 5	15,000 円
		賛助会員（法人等）	10,000× 18	180,000 円
	入会金収入	正会員・賛助会員	1,000× 8	8,000 円
	10 周年記念事業積立金			300,000 円
	10 周年記念誌広告協賛金			415,000 円
	前年度繰越金			167,428 円
収入の部計				1,442,428 円

支出の部	総会費・10 周年記念式典費（会場費・来賓旅費他）			415,920 円
	セミナー関連費（会場費・講師旅費他）			119,430 円
	現場研修会関連費（マイクロバス賃料他）			0 円
	部会活動費（技術部会・広報部会活動費）			100,754 円
	関係団体負担金（日本コンクリート診断士会会費）			102,140 円
	広報費（新聞広告費他）			60,862 円
	通信・交通費（活動旅費他）			24,775 円
	事務・会議費（コピー代・備品購入費）			75,424 円
	製本・印刷費（10 周年記念誌編纂・発刊）			400,108 円
	支出の部合計			

次年度への繰越金 1,442,428-1,299,413=143,015 円

監 査 意 見 書

平成 30 年度決算について、出納簿、その他の証憑書類を照合精査したところ、正確なものと認めます。

令和元年 5 月 10 日

新潟県コンクリート診断士会

会計監事

牧 岳 修 

「新潟県コンクリート診断士会」 令和元年度 事業計画書(案)

【活動計画】

新潟県コンクリート診断士会は、「コンクリート診断士」の社会的地位の向上、及び「コンクリート診断士」によるコンクリート診断技術の普及と向上に努めることにより、社会全体の健全な発展に大きく寄与することを目的とし、令和元年度は、以下の事業活動を行う。

なお、事業の推進に当っては、技術部会・広報部会においてそれぞれの役割分担に応じた活動を積極的に行い内容の充実を図るものとする。

1. 通常総会の開催

令和元年7月10日(水)

2. コンクリート診断に関わる知識、技術、文化の向上に資するための事業

- 現場研修会の開催(1回)
予定時期：令和元年9月(予定)
- 技術セミナーの開催(1回)
予定時期：令和元年10月(予定)
- 実務者報告会の開催(1回)
予定時期：令和元年12月(予定)

3. コンクリート診断士の社会的地位の向上及び地域社会の健全な発展に寄与するための事業

- 関係自治体他への研修会講師派遣
- 診断士制度活用のための広報活動

4. その他

- 会員及び日本コンクリート診断士からの情報や賛助会員(法人等)とのリンクを貼る等によるホームページの充実、会員への情報伝達の円滑化

【予算計画】

収入の部	会費収入	正会員	3,000×125	375,000円
		賛助会員(個人)	3,000×5	15,000円
		賛助会員(法人等)	10,000×18	180,000円
	入会金収入	正会員・賛助会員	1,000×12	12,000円
	前年度繰越金			143,015円
	収入の部合計			725,015円

支出の部	総会費(会場費・講師旅費他)	150,000円
	セミナー関連費(会場費・講師旅費他)	100,000円
	現場研修会関連費(マイクロバス賃料他)	100,000円
	部会活動費(技術部会・広報部会活動費)	80,000円
	関係団体負担金(日本コンクリート診断士会会費)	100,000円
	広報費(新聞広告費他)	70,000円
	通信・交通費(活動旅費他)	30,000円
	事務・会議費(コピー代・備品購入費)	70,000円
	予備費	25,015円
	支出の部合計	725,015円

会則改定の件

【現会則】

第12条（顧問）

顧問は本会への協力に同意した有識者に会長が委嘱する。

- 2 顧問は会長および役員会に対し、必要な助言をすることができる。
- 3 顧問は役員求めに応じ、本会の活動を支援することができる。

【改訂案】

第12条（学術顧問、及び技術顧問）

本会は、学術顧問ならびに技術顧問を置くことができる。

- 2 学術顧問は本会への協力に同意した有識者に会長が委嘱する。
- 3 技術顧問は、本会の役員を経験した技術者に会長が委嘱する。
- 4 学術顧問及び技術顧問は会長および役員会に対し、必要な助言をすることができる。
- 5 学術顧問及び技術顧問は役員求めに応じ、本会の活動を支援することができる。